

新型コロナウイルス感染症に係る県のこれまでの対応策(障害福祉関係)

1 社会福祉施設等への支援

(1) 感染予防

- 衛生用品の配布(マスク、消毒液、防護服、ゴーグル等)
- 障害者入所施設に対するロボット等の導入支援
- 障害児者入所施設の利用者と家族のオンライン面会等を行うためICTを導入する費用を助成
- 施設職員を対象とした感染症対策の研修動画の配信

(2) クラスター対策

- 感染症専門医や感染管理認定看護師など感染症対策の専門家で構成されたコロナ対策チーム(COVMAT)を感染者が発生した施設に派遣し、感染拡大防止の支援を実施
- 感染のあった施設に応援職員を派遣する施設間の互助ネットワークの構築
- 多床室の個室化改修

(3) 事業支援など

- 感染予防や感染拡大防止のためのかかり増し経費に対する補助
- 学校の臨時休業に伴う放課後等デイサービスの利用増に係る障害児入所給付費負担金の支給
- 職員への慰労金の支給

(4) 在宅障害者への支援

- 家族介護者等が新型コロナウイルス感染して入院した場合でも濃厚接触者である障害児者が安心して生活できる場所の確保
- 企業の休業等により影響が生じた障害者に対する生活支援
- 在宅障害者の安否確認や訪問入浴サービスの体制強化を行う市町村への支援

(5) 障害者就労施設への支援

- 感染症の影響で生産活動収入が相当程度減収している事業所において生産活動の回復に向けて必要となる経費の支援
- 利用者のテレワークのためのシステム導入経費等の補助

2 検査体制

- 施設内で陽性者が発生した場合、利用者、職員等のPCR検査(7月～)

3 相談窓口

- 「エッセンシャルワーカーのためのこころの相談窓口」開設
- 埼玉県こころの電話

4 情報保障

- 遠隔手話サービスの導入
- 知事会見に手話通訳の配置